

<かみちゃん号を利用したイベントの実施！> 新東名高速道路の工事現場見学会

上地区公共交通協議会（井上雅裕会長）において、かみちゃん号の運行にかかる収支率改善に向けた取り組みの一つとして、上地区以外の方にかみちゃん号を利用していただく事業に取り組んでみることとなりました。

今年度は、上地区において新東名高速道路の建設工事が行われていることから、中日本高速道路株式会社に協力を依頼し、かみちゃん号を利用した工事現場見学会について、ご協力いただけることとなりました。

7月15日号の秦野市広報で参加者を募集したところ、受付初日に参加定員（キャンセル待ち状態）となりました。

見学会の参加者は渋沢駅で集合・解散となり、新東名高速道路の工事現場へはかみちゃん号を使って往復します。

<見学会日時と利用するかみちゃん号は次のとおりです。>

8月10日（金）渋沢駅発 9時30分みくるべ線 乗車：渋沢駅 下車：東耕地 利用者22人（予備車を含め定員26人で運行）
東耕地発 11時58分みくるべ線 乗車：東耕地 下車：渋沢駅 利用者22人（予備車を含め定員26人で運行）

なお、この取り組みでは渋沢駅北口の柳町商店会からご協賛をいただき、参加者全員に飲み物を配布します。

さらに、中日本高速道路株式会社からは、参加者全員に記念品が配布される予定です。

秋には土木を専攻している大学生等を対象に、より専門的で高度な説明のある見学会を実施する予定です。

今年度は2回のイベント実施により、約40人の利用者及び運賃収入（約2万円）が見込まれます。

今後も、かみちゃん号の利用者を増やし安定した運行が可能となるよう収入の確保に向けて、様々な取り組みを行ってまいりますので、地域の皆様におかれましても、かみちゃん号の定期的なご利用や運行協力金へのご理解、ご協力をお願いいたします。



新東名高速道路の工事現場付近を走るかみちゃん号

全体の利用状況について(前年度との比較) ~ 年々収支率が悪化するなど、厳しさが増えています ~

平成29年度と28年度の利用者数を比べると、湯の沢線において神奈川県森林組合連合会従業員の方の利用があり増加しているものの、1便当たりの利用者数では合計するとほぼ横ばいであり、運賃収入については減少傾向にあります。また、国庫補助金も近年減少傾向にあり、収支率が年々悪化している非常に厳しい状況にあるため、今後の運行のあり方を真剣に考えていかなければいけない時期にきています。

上記のようなイベントの実施以外にも、かみちゃん号をより安定的・継続的に運行可能な公共交通とするため、地域が主体的に取り組めるものとして何があるか、地域の皆様でぜひお考えいただき、ご理解とご協力をお願いいたします。

路線	平成28年4月～平成29年3月 (運行日数243日)		平成29年4月～平成30年3月 (運行日数244日)		対前年同時期比較	
	利用者数(人)	1便当たり 平均利用者(人)	利用者数(人)	1便当たり 平均利用者(人)	利用者数(人)	1便当たり 平均利用者(人)
湯の沢線	11,109	2.86	12,487	3.20	↑ 1,378	↑ 0.34
みくるべ線	7,492	3.43	6,939	3.16	↓ -553	↓ -0.27
柳川・八沢線	5,105	3.00	4,473	2.62	↓ -632	↓ -0.38
合計	23,706	3.05	23,899	3.06	↑ 193	↑ 0.01

地域で乗り支えてください！

※かみちゃん号は、走っていて当たり前ではありません。

☆移動時の交通手段として、例えば週3回の内、1～2回は、かみちゃん号のご利用を心がけてください。

【お問合せ先】
 ■株式会社愛鶴
 Tel.0463(83)7777
<http://www.aizu-taxi.co.jp>
 ■上地区公共交通協議会
 (事務局：秦野市公共交通推進課)
 Tel.0463(82)9644(直通)
<http://www.city.hadano.kanagawa.jp>